

2022年6月21日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
AI inside 株式会社

**東北大学と AI inside、「持続可能な未来づくり」に関する
連携協定を締結**

【発表のポイント】

- 東北大学と AI inside 株式会社は、福島県浜通り地域に設置・検討されている東北大学 F サイエンスパーク構想に係る研究開発分野の AI, インテリジェンスの社会実装の検証やデータを活用した新産業創出、ロボティクス・次世代モビリティ・スマート農業などの次世代のテクノロジーの利活用に取り組む福島県などにおける AI・データサイエンス人材の育成を行い、福島の復興を支援します。



(画像左: AI inside 代表取締役社長 CEO 兼 CPO 渡久地 択、画像右: 東北大学 理事・副学長 (共創戦略・復興新生担当) グリーン未来創造機構長 佐々木 啓一 氏)

【概要】

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長：大野 英男、以下「東北大学」）と AI inside 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO 兼 CPO：渡久地 択、以下「AI inside」）は、AI、インテリジェンスの社会実装の検証支援並びにビジネス創出、AI・データサイエンス分野における人材育成などを通じた人類の持続可能な未来づくりに関する連携協定（以下「本協定」）を 2022 年 6 月 20 日（月）に締結しました。具体的には、以下の事項について連携・協力しながら、社会の発展に寄与してまいります。

《連携・協力事項》

- ・ 研究開発分野の AI, インテリジェンスの社会実装の検証やデータを活用した新産業創出に関する事項
- ・ AI・データサイエンス人材に関する事項
- ・ スタートアップに関する事項 など

今回の連携協定によって、東北大学と AI inside の双方の人的・知的資源の活用を図り、東北大学が掲げる「自然災害や感染症などの予測困難なリスクに対してレジリエントでかつ 持続可能な未来社会の実現」、AI inside が掲げる「世界中の人・物に AI を届け、豊かな未来社会の貢献」を目指します。

【背景】

東北大学は、「世界に伍する大学」、AI inside は、「グローバル展開を目指す企業」として日々活動しております。世界には多くの社会課題があり、東北大学は「知」を活用し、AI inside は「AI」を活用して課題解決に取り組んでおります。

また、日本が抱えている社会課題も多岐にわたります。少子高齢化、労働人口の減少（人材不足）、過疎化（消滅都市も含む）、都市一極集中、地球温暖化（異常気象）、自然災害、インフラ老朽化、環境汚染、感染症などに加え、福島では、原子力災害、風評被害などの課題も抱えております。

東北大学と AI inside は、世界の社会課題を解決するといった共通認識のもと、互いの強みや最新テクノロジーを活かしながら、福島を中心とした地域社会の課題解決や福島の発展的な復興を目指すことが世界の課題解決に繋がるのではないかと考え、この度、連携協定を締結することとなりました。

東北大学 理事・副学長（共創戦略・復興新生担当）グリーン未来創造機構長 佐々木 啓一のコメント

本協定により、AI inside 社と共に、東北大学が掲げる「自然災害や感染症などの予測困難なリスクに対してレジリエントでかつ持続可能な未来社会の実現」に向け、福島を初め様々な地域・分野で AI・データサイエンス人材の育成と新ビジネス創出が前進すると確信しています。

AI inside 株式会社 代表取締役社長 CEO 兼 CPO 渡久地 択 氏のコメント

本協定により、当社と同じ未来社会を描く東北大学と共に「Smart X」の実現にむけた連携・協力を強めてまいります。人材育成や社会・環境問題の解決、持続可能でゼロエミッションな AI の実現といった未来へと一歩前進することを確信しています。

【特別対談のご案内】

この度の協定締結を記念し、特別対談を実施いたします。

- テーマ：「(仮称) AI・インテリジェンス活用と AI 人材による持続可能なグリーンな未来の実現を目指して」

登壇者：東北大学理事・副学長（共創戦略・復興新生担当）
グリーン未来創造機構長 佐々木 啓一

AI inside 代表取締役社長 CEO 兼 CPO 渡久地 択 氏

日 程：2022 年 8 月 3 日（水）15 時～16 時（予定）

お申し込み：後日グリーン未来創造機構 HP にて公開いたします

開催場所：オンライン（無料）

※内容は変更になる可能性があります

【問い合わせ先】

東北大学産学連携部特定事業戦略室

電話 022—217—6044

AI inside 株式会社 広報担当

電話 03—5468—5041